

事業番号	11 01 03	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	建設業振興費	部局	建設部	課・室	建設政策課・技術管理室				
		実施期間	S24 ～	E-mail	kensetsu @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

建設産業は、インフラの整備や維持管理はもとより、災害復旧や除雪など「地域の守り手」として極めて重要な役割を担っている。建設業就業者は60歳以上が3割を超える一方、29歳以下は1割に満たない状況であり、次世代への技術承継が大きな課題となっている。将来にわたって持続的に発展し、魅力ある産業となるよう取り組むことが求められている。

2 事業目的

建設業を営む者の資質の向上、技術者の技術力向上及び建設工事の請負契約の適正化等を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、建設業の健全な発達を促進する。
産学官が連携して建設産業の次世代を担う人材の確保・育成を推進し、持続可能な建設産業の基盤を整備する。
長野県DX戦略「スマートハイランド推進プログラム」に則り、県と市町村の入札参加資格審査事務のDXの取組を実施する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①建設業法等に関する業務の適切な運用
- ・建設業許可及び経営事項審査に関するデータ管理等の電算処理業務を委託
 - ・建設工事の請負契約に関する紛争について専門家による迅速かつ簡便な解決を図るため、長野県建設工事紛争審査会を運営
 - ・建設工事及び建設業の実態を明らかにするため、建設工事統計調査等を実施
 - ・県と市町村の建設工事等入札参加資格審査に係る共通業務の集約化・デジタル化
- ②建設産業の担い手の確保・育成と建設工事等の品質確保
- ・建設産業の次世代を担う人材の確保・育成を推進するため、建設系学科高校生等を対象とした学びのフィールドの提供、資格取得の支援を実施
 - ・建設産業の将来を担う人材を確保するため、小学生等を対象とする現場見学会の開催、建設産業の役割とやりがいを学べるコンテンツ作成のほか、大学の建設系学部で学ぶ女性・若者に対し、信州での就職を促すため、首都圏等で合同企業説明会を開催
 - ・建設産業の生産性向上を図るため、中小建設関連企業を対象とするBIM/CIMのハンズオン講習会を開催
 - ・技術者の意欲と技術力を高め、建設業からの離職を防止するため、県の発注した建設工事及び建設工事に係る委託業務において、その成績や取組が特に優れている技術者を表彰
- ※このほか、建設産業の生産性と魅力を向上させるため、遠隔臨場の導入等、DX化への取組を推進

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	指標なし								
②	土木・建築系学科高校生の建設産業への就職割合	%	75	67	↘	71	↗	未達成	建設産業の次世代を担う人材の確保・育成を推進するため、建設系学科高校生等を対象とした学びのフィールドの提供、資格取得支援による成果として、建設産業への就職割合を設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進										

6 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	70,433	0	70,433	25,918	61,145	33.5
R5年度	0	31,145	0	31,145	3,501	29,045	33.5
R4年度	0	40,316	0	40,316	3,501	36,709	33.5

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

①建設業を営む者の資質の向上、技術者の技術力向上及び建設工事の請負契約の適正化を図り、建設業の健全な発達を継続して促していく必要がある。

②【担い手確保・育成】

大学等への進学は時代の潮流である一方で、建設系の大学等以外を進学先として選択する学生が多い。

【DX推進】

3次元データや遠隔臨場を活用できる事業者等を増加させ、省人化や生産性向上を図る必要がある。

【優良技術者表彰】

比較的小規模な工種・分野において、品質や技術力の向上を図るために実施した制度改善の実効性を注視していく必要がある。

(2) 事業改善の方策

①建設業法等に関する事業について、法令に則り、引き続き適正に執行していく。

②【担い手確保・育成】

進学先として建設系の大学等を選択してもらうことが、将来の担い手確保に寄与することとなるため、小中学生や高校生へ建設産業の魅力ややりがいを伝えていく。

【DX推進】

引き続き、講習会の実施や遠隔臨場機器の貸し出し等を通じて、事業者等にその必要性や利便性を理解いただき、DX推進を促していく。

【優良技術者表彰】

制度改善に向け、対象者の意欲や工事等の品質向上につながるよう建設関係団体との意見交換を進める。

事業番号	11 01 03	細事業一覧（令和6年度実施事業分）		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	建設業振興費	部局	建設部	課・室	建設政策課・技術管理室

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	建設業振興費		36,709 千円	29,045 千円	61,145 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	建設業情報管理電算処理業務	委託	建設業許可及び経営事項審査に関するデータの管理等の電算処理業務を（一財）建設業情報管理センターに委託し、同センターが運営する「建設業情報管理システム」を利用して、建設業許可及び経営事項審査等の審査を実施 建設業許可申請 1,220件 経営事項審査申請 2,751件		
2	建設工事等入札参加資格審査業務	直接 委託	建設工事等入札参加資格審査申請に係る県と市町村の共同窓口の運営（電子申請・審査システムの運営、審査事務の集約） 共同受付参加市町村数 34団体、共同受付審査件数 4,521件		
3	建設産業の次世代を担う人づくり推進事業	直接	産・学・官の連携による「建設技術実践プロジェクト事業」及び「建設関係資格取得支援事業」を実施し、キャリア教育に必要な専門性を補完するとともに、建設産業への理解を深め、就業意欲の向上を図る。 実践プロジェクト 5校 資格取得支援事業 6回		
4	持続可能な建設産業創造事業費	直接 委託	小学生とその保護者を対象とする、土木施設等を巡り建設産業への理解を深める現場見学会の開催や、建設産業の役割とやりがいを知るコンテンツの作成、首都圏等の建設系学部で学ぶ女性・若者等を対象とする交流会を開催 現場見学会 2回 交流会 1回		
5	建設DX推進事業費	直接 委託	中小建設関連企業を対象としたBIM/CIMのハンズオン講習会の開催、職員を対象とする講習会の開催 ハンズオン講習会 3回 職員向け講習会 5回		
6	優良技術者表彰制度事業	直接	県の発注した建設工事及び建設工事にかかる委託業務において、その成績や取組が特に優れている技術者を表彰 優良技術者表彰 1回		